

但馬さわやかトークの概要

と き 平成19年5月26日(土) 18:15~19:50

ところ ファミリーイン今子浦(香美町境548)香寿の間

訪問団体 香美町若者まちづくり懇話会

座 長 よろしく申し上げます。

知 事 今日は、皆さんのようにふるさとで活躍し、地域のことについて積極的に考え、創造的な提言しておられるグループとの話し合いということで、大変楽しみにしている。どうぞよろしく申し上げます。

座 長 香美町発足とほぼ同時に発足しました。3つの区から30~40歳代のいろいろなジャンルの若者21名で構成しています。私たちは中長期的なまちづくり、まちおこしについて、町に提言させていただいています。日本の中で香美町がどう位置付けられるかということまで踏み込んで議論しています。それでは、自己紹介をさせていただきます。私は村岡区でガソリンスタンドを経営しています。

参加者1 小代区で精肉店を営んでいます。昨年まで美方青年会議所でお世話になりました。

参加者2 小代区で家業は建設業を営んでいます。

参加者3 香住区で家業は自転車店を営んでいます。今年度合併した香美町商工会の初代青年部長をさせていただいています。

参加者4 村岡区でドライブインを営んでいます。

参加者5 香住区で水産食品メーカーを営んでいます。青年会議所で子ども県議会をお世話になりました。

座 長 それでは、水産業のことから話を進めたいと思います。

参加者5 香住区は水産基地になっていますが、今後の香住区のことを考えると水産業の拡大は必要です。いま「1県1漁協」が推進されていますが、一部の地元漁協は入っていません。漁協の採算性確保など情報を開示させていただいてから、いろいろなことを考えていかないと意見が相容れないようです。

そこで、1点目は港ごとに買参権(ばいさんけん)が設定されていることです。本来、合併すれば、隣の港でも買えるのが筋ですが、香住町漁協の仲買人は香住港でしか買えないということになっています。どこでも買えるとなると、一つに集約されて廃業する所が相当出て来ると思います。いずれ漁協の採算性が合わなければ、どうこういう問題ではなく、漁協の情報が私たちには開示されていません。

2点目は、メインのせり場は香住西港にあり、東港はあまり利用されていません。そこで、事業拡大のため、外国船が入港できるようにしてはどうでしょうか。

3点目は下水道です。水産加工は水を大量に使うので、下水道の料金体系を考えないと、水産加工業は成り立ちません。

4点目は消費税の内税化です。2年前に導入されましたが、景気の回復が鈍いので、価格に転嫁しにくい。どんどん寡占化が進んでいます。かつて香住には百軒の水産加工業者があり、その頃は自治会活動が盛んでした。

知 事 買参権というのがあることは知りませんでした。仲買人は港ごとに決まっているということですか?香住町漁協の人は柴山港に仲買に行ってはいけないという決まりですね。漁

協が一本化したわけですから、そういうのは、少しずつ崩れていくのではないのでしょうか。香住は加工業があり、ある種の付加価値を高められているが、問題なのは、浜坂はそのまま出しているの、付加価値を高めていないことです。そういう業態に起因していることだと思います。将来的には一つにまとまっていかざるを得ないのではないのでしょうか。明石ののりは、生産量自体は維持しているが、価格が落ちているので、売り上げが下がっています。付加価値を高め、市場をにらんだ経営をしていく努力が必要です。そのためには人づくりから始めないと。県漁連が「大輪田塾」を始められましたが、時間がかかると思います。

東港を外国船が泊まれるようにするという問題は、どの程度の港にするかということですね。極東ロシアや中国東北地域、北朝鮮もいつまでも今の調子ではないことを考えると、これからは環日本海に注目すべきです。その際、鳥取豊岡宮津道路は基幹道路になります。しかし、兵庫の地形は日本海に対してぼっかり開いており、舞鶴のような入り江や境港に対する島根半島のような自然の防波堤がないので、大きな国際貿易港は難しい。次善の策として、境港や舞鶴との距離をどう縮めるかを考えるべき。そういう意味で、私は鳥取豊岡宮津道路の整備に力を入れています。

参加者5 農産物の原産地表示が義務化されていますが、兵庫県のブランド力があります。

知事 カニはブランド力があるのでは。

町長 そのため、町が合併しても区政を敷いて香住の名を残しました。

知事 下水道の問題は、前処理施設が必要ですか。

町長 特異な加工は別として、カニには必要ありません。水をたくさん使うから、コストを吸収できない。

知事 特別な料金設定が必要ということ？龍野の皮革は、前処理してから下水処理場に入っています。しかも排水にクロムが入っているので、エースというガラス状に固めるなど苦労されています。

町長 香住区は下水道をつなぐ時期となり、産業政策として料金設定を考えなければならぬとなりました。

知事 龍野の皮革の例を勉強したらよいと思います。

参加者5 この問題がうまく解決すると、10軒以上の水産加工場が建ちます。

知事 いずれにせよ制度のフレームを考えたらよいと思います。ところで買参権が広がると、困るのは弱小の業者ですか？

参加者5 右から左に流すだけの方が困ります。

知事 新しい問題を聞かせていただきました。

局長 漁船は相互に港に入れるのですか。

参加者5 ええ、入っています。関東などでは「香住カニ」より「兵庫カニ」の方が通りがよいです。

知事 ブランドは大事にしないといけないですね。この辺りは議論した方がいいですね。

参加者1 私からは農業、特に畜産についてお話します。但馬牛は神戸ビーフの素牛として有名だが、但馬ビーフはまだ有名ではありません。この春発足した但馬牛銘柄推進協議会は私たちが心待ちにしていたものです。畜産農家は高齢化し、後継者難です。合併前の旧町単位では、20頭程度の小規模な牛舎を建てる補助金がありました。県にも補助金メニューがたくさんありますが、使いにくいと畜産農家から聞きます。地形的にも大規模な牛舎は建てられません。小規模でも使える補助金を創設してほしいと考えています。

農業大学から香美町に研修に来て、Iターンした若者がいます。そういった但馬に興味のある人がIターンできるようなシステムを考えるべきです。町が合併して地産地消を進めています、地元で但馬牛を食べられません。畜産農家はランクが一定以上だと神戸ビーフとして高値が付くので、加古川などに出してしまいます。農家の協力を得て、地産地消の面から考える必要があります。

知 事 但馬ビーフは但馬牛でない？

参加者 1 淡路や丹波などから来ています。

知 事 但馬は肥育農家が少ない。これまで子牛生産に力を入れてきた歴史があります。

町 長 肥育は淡路など暖かい所の方が経済効率的によいということが理由です。

参加者 1 但馬でも多頭飼育している農家はあります。

知 事 素牛が但馬牛でないのは鹿児島牛くらいです。いま全国的に注目を集めている岩手牛は、わが畜産試験場が欠陥商品として外に出したものだが、どういうことか性能がよかったという話があります。(笑い)

参加者 1 10頭いれば子牛生産はできます。

町 長 肥育は出荷まで2年かかるので、ある程度の規模が必要ですが、子牛は毎年出荷できます。

知 事 副業的にやっているということ？しかし、需要があれば肥育されるようになるので、但馬で消費してもらおう、たくさん売ってもらわないといけないですね。(笑い)

でも本当は、鹿対策を進めるため、鹿肉を食べてほしい。Iターンについては、どんな情報をどのように提供するシステムをつくるかということです。一緒に勉強しましょう。

局 長 6月に「たじま田舎暮らし情報センター」が(財)但馬ふるさとづくり協会にオープンする予定です。

知 事 但馬ビーフばかりだとカニが困るのでは。

参加者 1 そんなことはありません。相乗効果が期待できます。

局 長 但馬で但馬ビーフを食べられる店は以外と少ない。

町 長 村岡ファームガーデンは、地元で肥育された牛を一頭買いしています。

知 事 小代によいレストランをつくれればよいのでは。どぶろくを出して。口コミで広まると思います。

参加者 1 おいしいレストランは小代にあります。

参加者 3 私からは観光と商店街対策についてお話しします。実家の商売があつてこそその町の商店街ですが、実家の商売がなくなれば、その家の若者は出て行ってしまい、町の活力はなくなります。幸い、香美町商工会青年部は合併により若者 84名の団体になりました。香美町の中高生は、一度京阪神に出て行くことが多いのですが、長男は帰ってきても、次男は帰ってきたくても、仕事がないので帰って来れないと聞きます。具体的なことはこれからですが、若者がやっぱり香美町に帰って来たいと思えるまちづくりができるよう、力を出していきたいと思えます。

知 事 京阪神では、但馬の人はまじめで勤勉と評価が高い。企業の方でも都市への集中から生産のリスク分散を考える時代になりました。そういう労働力があることを考え、総合戦略を練って売り込んでいくべきです。

1点目は、県内企業が膨張する動きがあれば、少なくとも県内でキャッチしようというキャンペーンをしたいと考えています。もうひとつは違った状況のところに働きかけるといった考え方です。後継者がいない商店街は元気がない。自分の代だけ細々とできればと、

工夫がありません。一方、後継者がいるところはがんばっておられます。84名の力を合わせ地域で取り組んでほしい。

参加者3 やっぱり香美町がいいと言ってもらえるようがんばりたいです。

知事 私は交流が大切と言っていますが、せめて土日くらい香美町に来るとか、逆に皆さんが都市に打って出るなど、交流の輪が広がれば、元気が出ると思います。

局長 旧美方町が尼崎市の塚口に野菜などのアンテナショップを出していましたね。

町長 今は香美町として魚も出しています。小代に「尼崎市少年自然の家」、村岡に「ロジックどま」があり、それぞれ交流しています。

参加者4 地域医療と教育について意見を述べさせていただきたいと思います。まず、病院についてはPFIを導入して建設だけでなく、機器管理、診療報酬請求など運営まで民間のノウハウを導入してはどうでしょうか。

医師確保では若い医師だけでなく、一線を退いた意欲のあるベテラン医師に来てもらうとは考えます。

また、町の医療費負担を抑制するため、早期治療を徹底します。そのため、検査機能を備えたバスを走らせてはどうでしょうか。

教育では4点提案します。一つ目は、兵庫県立大総合人間学部と香美町が学生交流のプログラムについての協定を結びました。そこで、キャンパスとして活用するだけでなく、大学院等の研究施設を誘致し、ふるさとを大切に作る人間関係の研究をしてはどうでしょうか。

二つ目は、香美町の自然をいかしたヒューマンリゾート計画です。人間が生きていくのに必要な人としてのゆとり、やすらぎを得られる拠点を設置し、そういうニーズを作り出してはどうでしょうか。

三つ目は、地域性あるカリキュラムです。現在のようなゴリ押しの授業ではなく、香美町の豊かな自然や高齢者との交流を活かした授業を展開してはどうでしょうか。都市との交流による授業を展開していけば、大人になってからも自然に接する機会が増えていくと思います。

最後はボランティア教育です。義務教育のうちに確立し、援助精神を養う教育を兵庫から始めてはと考えます。

知事 ちょっと工夫がいるかもしれないが、みんな賛成です。

PFIは、民間より我々の方が資金調達コストが安いから、お金の調達だけでは意味がありません。尼崎のプールにPFIを導入したが、それは18年間運営をしてもらう技術やノウハウが優れているからです。そのため、保証金のような形で建設費の4分の1を負担していただきました。

医師確保については、ドクターバンクを行っています。具体的な条件を示し、百人以上から手を挙げていただいています。まだ実現していないが、自分の医院、診療所を息子に譲った人なども出てくるかもしれません。

健康診断については、これまで町が健康予防事業などの形で呼びかけて実施してきたが、平成20年度から国民健康保険など保険者の義務として実施するようになります。徹底すれば、描いた通り進むかもしれませんが、お金が別に要るようになるかもしれません。

教育では、せっかく環境人間学部と結んだ協定だからヒューマンリゾートプランなど、新しい展開につながっていけばよいと思います。

村岡にある木の殿堂、兎和野高原、高原植物園はすごくいいところです。点在している

のでうまくつなげると面白い。また、但馬に花の公園をつくることが私の宿題になっています。

カリキュラムについては、文部科学省が縛ろうとするから未履修などが起こります。もっと弾力化すべきです。総合科をうまく使えばかなりのことができます。ボランティア教育については、高校1年生が昨年から取り組んでいます。また、農家の子どもで農業をしたことがないという子が出てきました。私は体験学習をもっと進めるべきと考え、今年から小学3年生が環境学習を実施するようにしました。いずれも面白い提案なので、もっと勉強していきましょう。

座長 次に私からお話しします。村岡区は3つの中学校の統合の動きがありますが、スクールバスの料金が負担になっています。

町長 全額を町で負担する場合、年間1,500万円は必要となります。授業時間に間に合わせる必要があるので、数台は必要です。

座長 部活動の時間などの理由では、バスのダイヤは変えられないと言われていました。

知事 ダイヤを変えるのは、届ければよいのだから簡単です。お客のニーズがあれば決まるはずです。そういう動きにしたらいいのではないのでしょうか。

座長 中学校が統合すれば、今いる25人の先生が10人になります。恩恵を受けるのは県です。また、廃校の利用についてもコールセンターやコミュニティセンターにしてはどうかなど議論しているところです。

知事 コールセンターだと面白い。問題は人材が集まるかどうかだ。恩恵とは、減った先生の分だけ人件費をよこせということ？（笑い）教育委員会とは話をしていますか？

参加者2 最後に私から社会基盤整備について話をさせていただきたい。但馬では交通手段は車ですが、国道178号バイパスや鳥取豊岡宮津道路をもっと早く整備し、合併効果を高めてほしいと思います。また、道の駅を余部に置いてほしいです。

知事 余部鉄橋は現橋の半分を残し、その下に道の駅を置く予定です。これは私の考えだが、エレベーターを設置し、日本海を眺められるよう、今相談しているところだ。本当は全部残したいが、トンネルが1本しかなく、橋がトンネルに直結していますので、半分しか残せません。この3月に余部鉄橋活用検討委員会から余部鉄橋は貴重な文化遺産だから、記念館として博物館をつくってはどうかという提案を受けました。道路の整備についてはできるだけ急ぎたいと考えています。

参加者2 仕事があれば、町に活気が生まれ、若者も帰ってきて子どもを産むという、よい循環ができます。

知事 但馬は谷が深いから、トンネルでつなぐしかありません。香住、村岡、小代をどうつなぐかということです。今年は暖冬で、スキー客が3分の1に激減しました。暖冬がさらに続くとなると、今年の冬対策を今から考えておくべきです。

参加者2 国道482号が小代で止まっています。残りは町道で渓谷は魅力的なところです。そこを国道に昇格させるのが私の夢です。

知事 ブナ林を残すためには今のままの方がよいのではないですか？

町長 春になるとあちこちで土砂崩れが起こります。現在も通行止めになっています。

参加者2 必要最小限の整備をしてほしいということです。

知事 このことは鳥取県との知事会議に持ち出すことにします。ただ、通り抜けられるようにするのがよいのか、みんなでよく議論した方がよいですね。鳥取県側の上山高原は牧場になってしまいブナ林がなくなっていました。

座 長 どうもありがとうございました。

知 事 面白いアイデアを聞かせてもらいました。みんなで考えるとよいアイデアが生まれます。それを具体の動きにしないといけません。時々こういうのをやりましょう。ありがとうございました。